

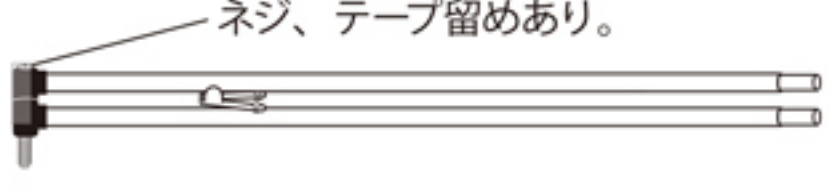


# 組立て方法

※パイプが奥までしっかり差し込まれているか、本体がねじれていないかご確認ください。

## 組み立て時の ご注意 ⚠

- 組み立ての前に部品がすべて揃っていることを確認してください。
- この説明書に従って正しく組み立ててください。また、部品はなくさないようご注意ください。
- 組み立て中は、お子様をそばに近づけないでください。
- ご使用前に完成図通りに組み立てられているか確認し、各部を点検した後、ご使用ください。異常がある場合は使用しないでください。
- パイプが部品に入りにくい時は、パイプを回しながら差し込んでください。

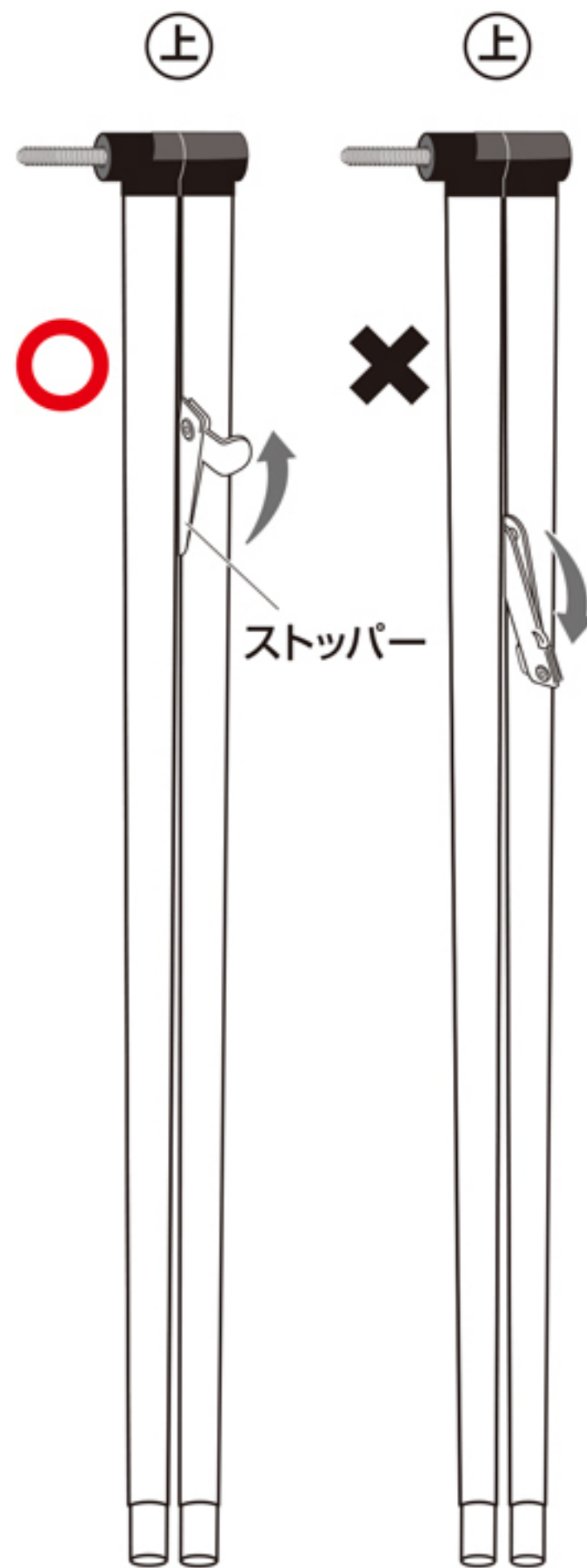
⚠ プラスドライバーをご用意ください。

部品 No.		部品	数量	部品 No.		部品	数量
①		支柱 	2 セット	②		竿 	1
						脚 	2

⚠ 組み立ての際、手袋を着用してください。パイプや部品の端部で手を切るおそれがあります。 ⚠ 床を保護するために敷物を敷いた上で行ってください。

### 1 支柱とストッパーの向きを確認

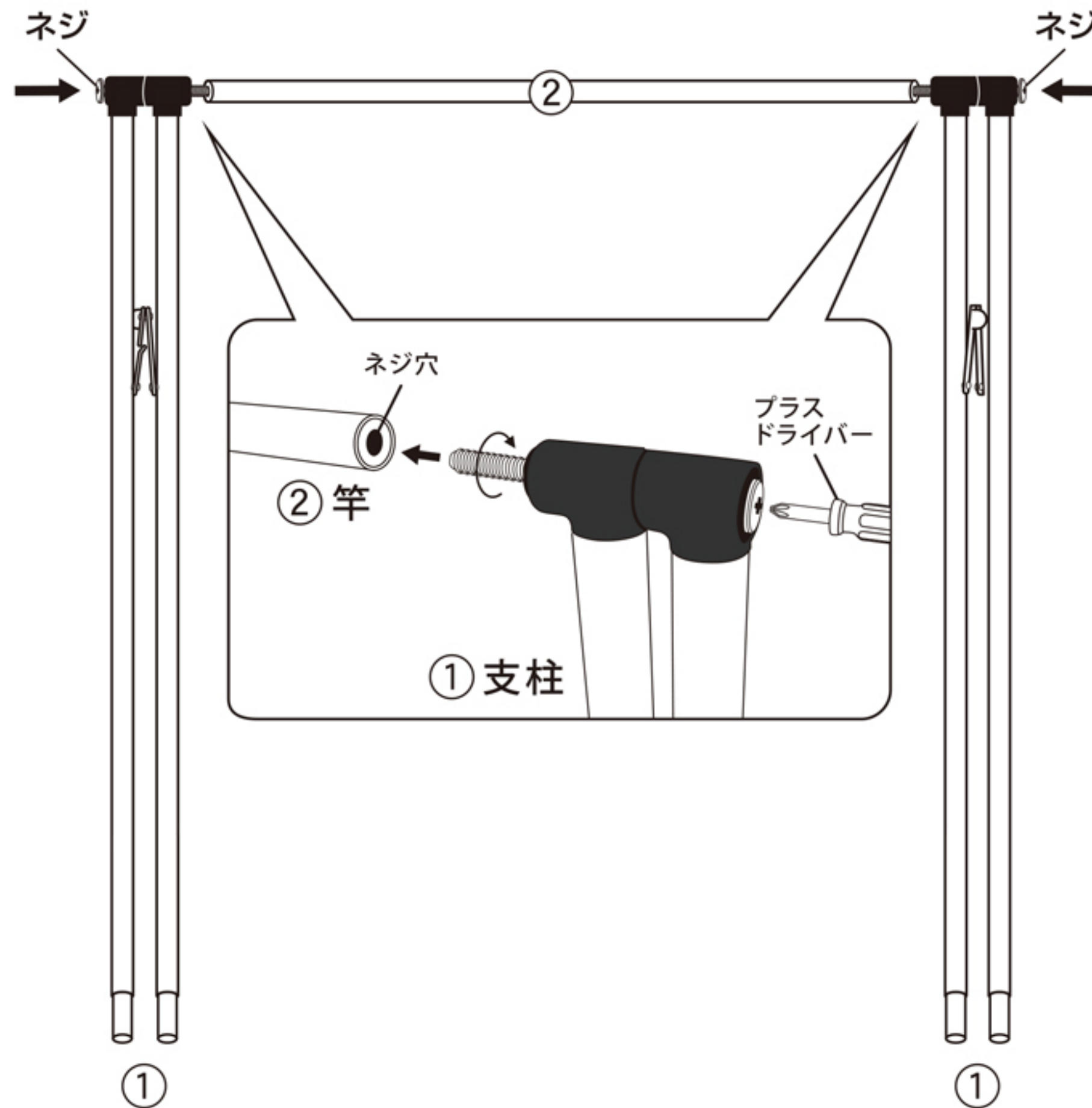
- ①支柱のストッパーが上を向いていることを確認してください。下がっている場合は上に向けてください。



### 2 支柱と竿の組み立て

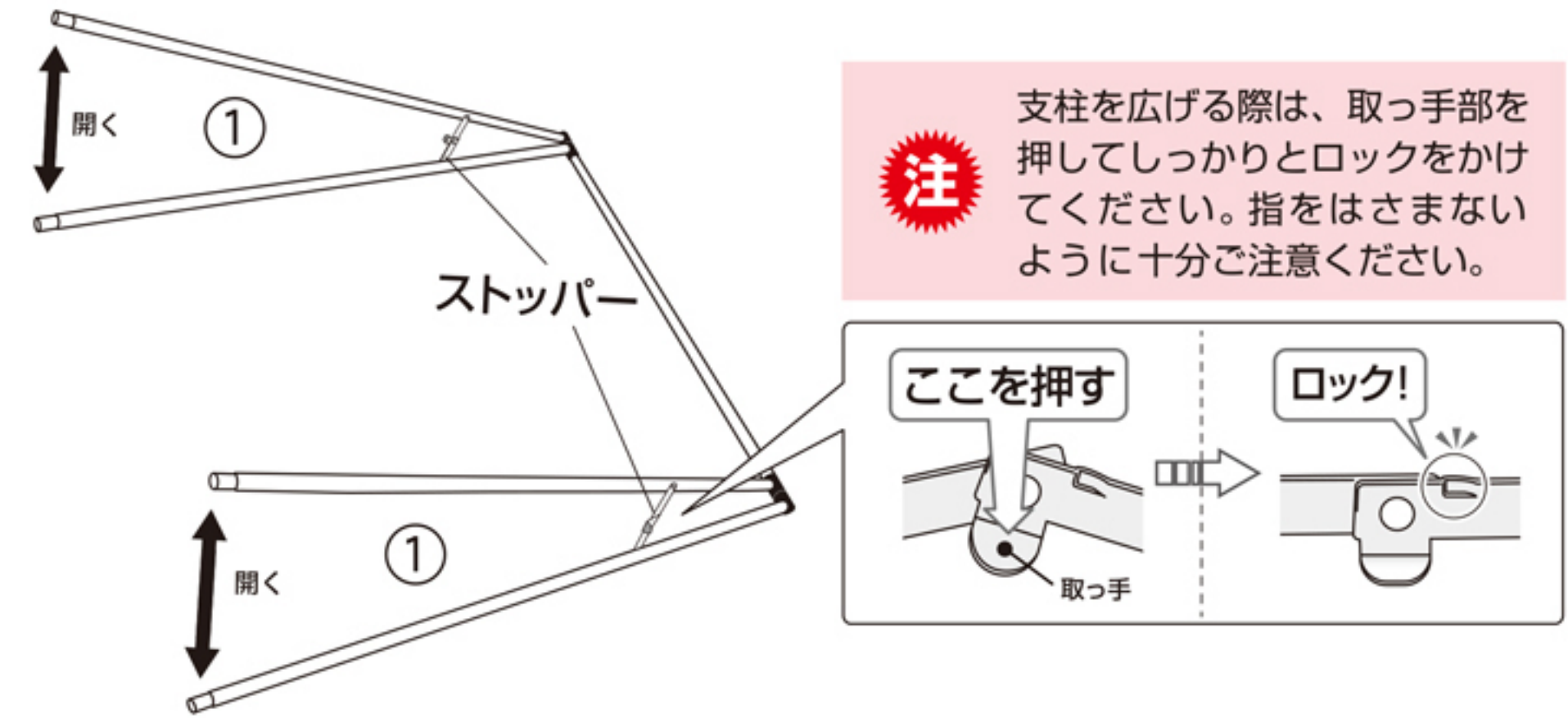
※組み立ては部品を横に寝かせておこなうと組みやすくなります。

- ①支柱のネジ留めテープをはがし、そのまま②竿の両側に①支柱をしっかりネジ止めします。



### 3 支柱を開く

- ①支柱を開き、下図のようにストッパーを押してしっかりとロックをかけます。

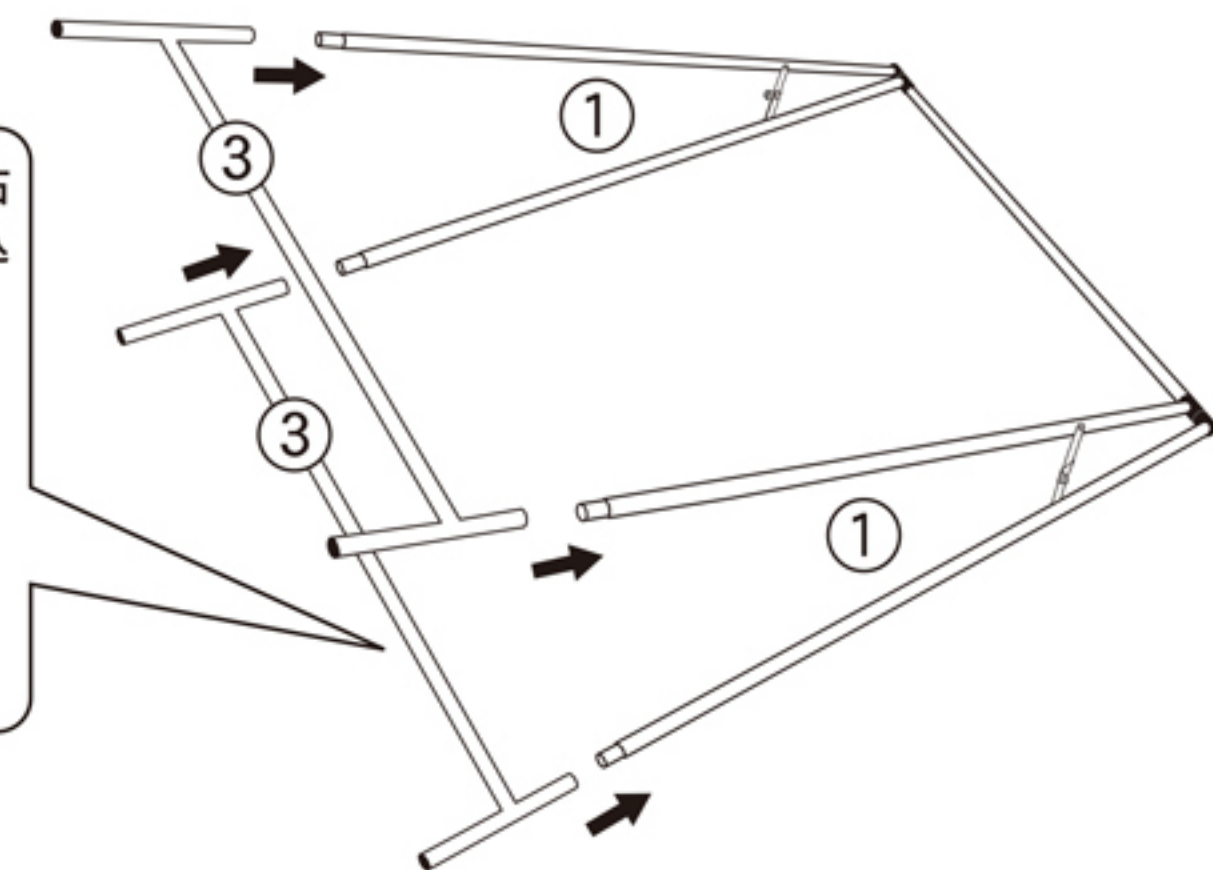


### 4 ③脚の取り付け

- ①支柱に③脚を奥までしっかり差し込みます。

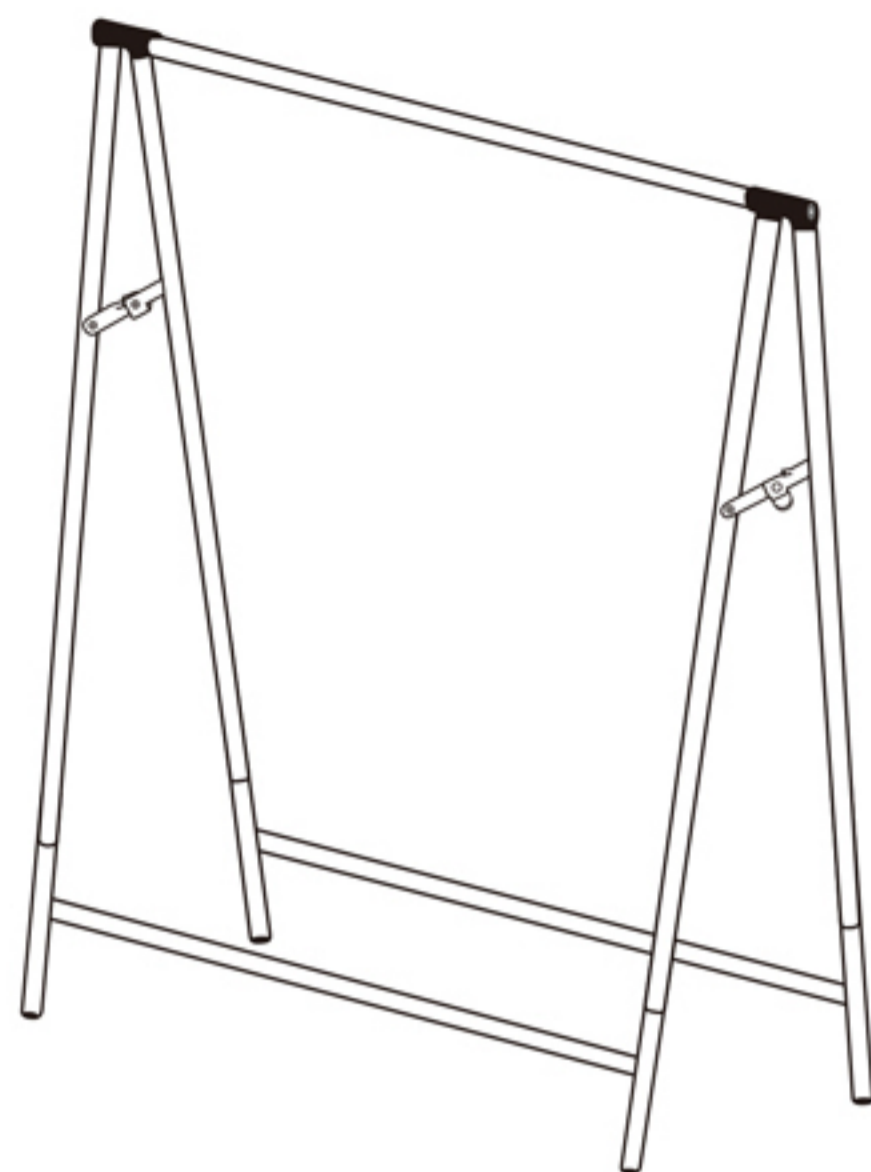
※③脚を差し込むときは、左右の支柱パイプに均等に差し込んでください。

↑ 均等に差し込む ↑  
脚



## 5 完成

- 組みあがった製品を起こし、パイプが奥までしっかり差し込まれているか、本体がねじれていないか確認をしたら完成です。



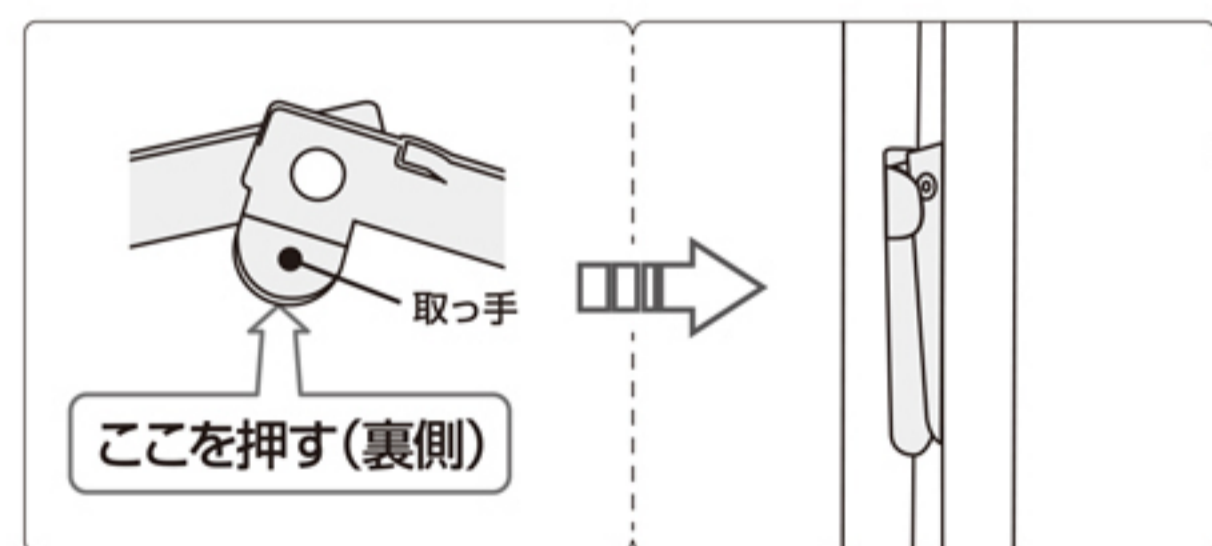
このたびは、お買い上げいただき  
まことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みになってから  
正しくご使用ください。  
また、この説明書は大切に保管してください。



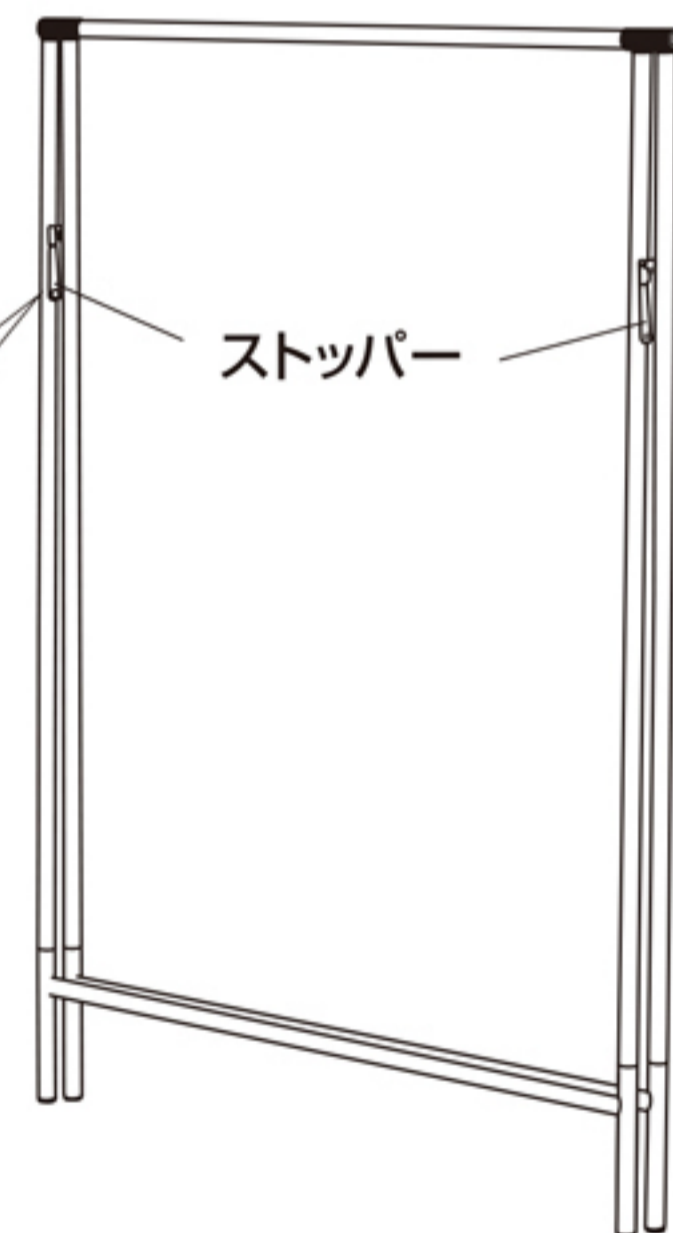
## 6 収納時

- ストッパーの取っ手を押し上げて、支柱をたたみます。

**注** 指をはさまないように十分ご注意ください。



ストッパー



**！ 使用上のご注意** この製品は室内専用物干しです。本来の用途以外での使用はしないでください。

### ■ケガや破損の原因となるため、以下の事柄には特に注意してご使用ください。

- ①お子様がいたずらしないようご注意ください。
- ②製品にぶら下がったり、引っ張ったり、乗ったりしないでください。
- ③使用、収納の際、手や指などはさまないようにご注意ください。
- ④移動する際は、必ず左右2か所の支柱を持って移動してください。物をかけたままの移動は転倒や落下の危険があります。
- ⑤耐荷重を守って1ヶ所に集中させずに掛けてください。耐荷重は全体で8kgまでです。
- ⑥片寄った掛け方をすると転倒する危険がありますので、バランスよく掛けてください。
- ⑦フローリングなど床材に傷がつく場合がありますので、十分ご注意ください。
- ⑧使っているうちにゆらみやはずれが発生し、ぐらつくことがありますので定期的に確認してください。
- ⑨長期の使用により、樹脂のひび割れなどの劣化やパイプに割れが発生した場合は、大変危険ですので使用しないでください。

- お手入れは固くしぼった布などで汚れを拭き取ってください。市販の洗剤によっては製品を劣化させるおそれがあります。
- アルコール、ベンジン、漂白剤などの化学薬品は使用しないでください。製品の劣化やサビの原因となります。
- パイプ部に油が付着している場合がありますので、一度拭いてからご使用ください。
- 部品の分解や製品の改造はしないでください。破損などの原因となり、思わぬケガをする場合があります。
- 製品の仕様およびデザインは改善などのため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

### ■この製品を設置する場所について、以下の事柄には特に注意してご使用ください。

- ①この製品は室内専用です。屋外では使用しないでください。
- ②必ず、水平な場所に設置してください。転倒や作動不良の原因となります。
- ③ストーブなど火気のそばで使用しないでください。火災ややけど、製品の変形や変質の原因となります。
- ④高温多湿な場所に設置しないでください。変形・変質・サビの原因となります。
- ⑤たたくで保管する際、倒れることがあり危険ですので、ご注意ください。

### ■ステンレス製品のお手入れについて

- ステンレスはサビにくい金属ですが、使用条件や環境によってはサビが発生することがあります。
- サビの原因は主に空気中の鉄粉・塩分・酸性雨や大気汚染物質などです。これらの異物が付着し、もらいサビをおこしますので、こまめに拭き取ってください。
- 汚れを落とす際は、薄めた中性洗剤で拭いた後、固く絞った布などでよく拭き取ってください。
- 点状のサビが見られる時は、中性洗剤や、目の細かいキッチン用クレンザーなどを布につけて軽くこすった後、よく水拭きをしてください。ただし、クレンザーによってはパイプにキズがつくおそれがありますので、ご注意ください。

品質表示

材質/本体：ステンレスパイプ  
樹脂部品：ABS樹脂・EVA樹脂  
金属部品：ステンレス・スチール(メッキ)

全体耐荷重 / 8kg ※

※耐荷重は測定値であり保証値ではありません。



PSI-07  
202207